

地域移行・定着協力病院の認定要件について

指定要件	意見	運用(案)
① 地域移行を推進するための会議を設置していること (参考:アンケート 2-1) 入院患者の地域移行推進にむけた多職種が出席する院内の会議の実施	院内のケース会議に、地域の職員が出席したことがある。その会議を踏まえると、要件を満たすためのハードルは高くないのでは。 ----- 法改正により、病院において医療保護入院者退院支援委員会を設置することとなった。	院内において、他職種が出席し、かつ、地域移行の推進に関する内容の会議を設置していれば要件を満たすものとする。 ----- 医療保護入院者退院支援委員会において、多職種が出席し、かつ、退院に向けた取組を審議していれば要件を満たすものとする。
② 地域移行支援協議会等への参加をしていること (参考:アンケート 4-1) 千葉県精神障害者地域移行支援事業の地域移行支援協議会への参加	千葉市においては、千葉県地域移行支援協議会を設置していない。 ----- 各圏域で実施している地域移行支援協議会において、病院の職員が他業務との兼ね合いで毎回参加できない場合においても、要件にある参加とみなせばハードルは下がるのではないかな。	千葉市内の病院については、自治体(保健センター等)が実施する、退院に向けたケースの検討等、地域移行に関する内容の会議等への参加をしていることを要件とする。 ----- 事情があり地域移行支援協議会に全て出席できなかった場合においても、要件を満たすものとする。
③ 地域移行・地域定着サービス等が必要な者に対して、障害福祉サービス事業者等と連携した支援を行う体制があること (参考:アンケート 3) 地域移行サービスの利用	・「地域定着」に、病院に必要な役割とは、「移行」だけではないのではないかな。 ・地域移行サービスでは、6カ月の計画書を作成するため、そこで地域と病院との連携が図られるものと見なされるのではないかな。	病院が定着支援に必要な役割とは、デイケアや訪問看護の実施、地域との連携した取組等が考えられる。 今年度については、地域移行サービスの利用等、障害福祉サービス事業者等と連携した支援を行う体制があること要件とし、次年度以降は定着支援の実施状況を含めたアンケートを再度実施した上で、その結果を見ながら地域定着に関する要件設定を検討したい。
④ 遠隔地入院患者の退院支援についての協力をする予定があること (参考:アンケート 4) 「遠隔地入院患者の退院支援」についての御協力	・救急病院であり、1年以上入院している患者がいない。対象となる者がいないため、協力ができないことになってしまう。 ・救急病院は、随時救急患者の受入を行う役割があるため、空床を確保する必要がある。よって、原則転院を受けることができず、協力ができないことになってしまう。	救急病院(急性期病棟)については、性質上、原則として遠隔地からの転院の受入は行わないことから、「遠隔地入院患者の退院支援」と同旨の目標である地元への退院支援を行っている場合は要件を満たすものとする。